

# 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

消化管腫瘍性病変に対する内視鏡診断・治療成績の検討
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> 2010年1月から2028年12月までに当院で消化管腫瘍対して内視鏡検査・治療を受けられた方
<b>2. 研究目的・方法</b> 消化管腫瘍は消化管内視鏡検査でのNarrow Band Imaging (NBI)、Blue Laser Imaging (BLI)、Flexible spectral Imaging Color Enhancement (FICE)、Auto Fluorescence Imaging (AFI)などの画像強調観察を用いることで発見率が向上しており、またそれらを拡大観察技術と組み合わせることでより詳細な病変観察が可能となっています。また、消化管腫瘍に対する治療は、内視鏡的粘膜切除術(EMR)、内視鏡的粘膜剥離術(ESD)などが開発され、より低侵襲な治療が可能となっています。消化管腫瘍に対する内視鏡診断・治療に関しては、様々な検査治療のストラテジーおよびガイドラインが提唱されていますが、一方で検討が不十分で診断基準・治療方針が不明確な疾患も依然として存在しているのが現状です。そのため、本研究では消化管腫瘍の内視鏡診断、各種併存疾患との関連、偶発症リスク因子の同定・評価、内視鏡検査や内視鏡治療の安全性や有効性、短期・長期予後などを評価し、内視鏡での診療における診断基準や治療ガイドラインの作成の参考となるような学術的構築を行うことを目的とします。
<b>3. 研究期間</b> 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2029年3月31日まで
<b>4. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 情報：病歴、消化管腫瘍病変詳細、内視鏡検査詳細および成績、内視鏡治療詳細および成績、内視鏡検査、治療後の長期成績など
<b>5. 外部への試料・情報の提供</b> 該当いたしません。

**6 . 研究組織**

研究責任者      研究機関名   昭和大学医学部内科学講座消化器内科学部門   氏名   居軒   和也

**7 . お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

所属：昭和大学病院（医学部内科学講座消化器内科学部門）      研究責任者：居軒   和也

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8      電話番号：03-3784-8535